

未来・ねりまニュース

平成20年7月

創刊号

社会福祉法人未来・ねりまを支える会会報

目次

理事長あいさつ	……P1
事業所施設長あいさつ	……P1
未来・ねりま沿革	……P2
就労継続支援事業の紹介	……P2
就労移行支援事業の紹介	……P3
ねりま事業所行事報告	……P4
未来・ねりま事務局だより	……P4
未来・ねりまを支える会だより	……P4

発行所 社会福祉法人未来・ねりま

〒176-0013 東京都練馬区豊玉中 4-10-6

TEL 03-3948-0275 FAX 03-3948-5864

法人 E-mail honbu@mirai-nerima.or.jp

移行支援 E-mail ikou@mirai-nerima.or.jp

継続支援 E-mail keizoku-1@mirai-nerima.or.jp

ホームページ <http://www.mirai-nerima.or.jp>

未来・ねりまニュース創刊にあたって

社会福祉法人未来・ねりま理事長

眞保 眞人

社会福祉法人未来・ねりまが誕生して一年が過ぎました。新しい時代の要請と地域の親の会の願い、それを支えていただいた区の行政施策によるものと思っています。

さて、現代社会は情報化の時代です。あらゆるメディアを通じて、自分たちの活動を発信していかなければなりません。事業の様子をより多くの人々に知っていただき、一層のご協力をしていただくために、今回「未来・ねりまニュース」を発行することとなりました。お読みいただき、是非様々なお声をいただきたいと思えます。

未来・ねりまニュース創刊にあたって

ねりま事業所施設長 菅野 絹子

昨年、旧ねりま福祉作業所より、社会福祉法人として新しく「ねりま事業所」が誕生し一年が経ちました。同時に練馬手をつなぐ親の会も創立五十五周年を迎えられた事など、親の会を始め、それを支えていただいた多くの方々のご理解、ご支援によるものと思っております。

さて、ねりま事業所も新体系の下、時代の流れに合わせ、新しい風を取り入れる必要があります。今回創刊される「未来・ねりまニュース」を通じて、ねりま事業所の様子を多くの方々に知っていただき、障害者の就労支援を通じて、地域に根ざした福祉の拠点を目指していきたいと思えます。

社会福祉法人未来・ねりま～事業の沿革～

○社会福祉法人未来・ねりま

平成19年3月に障害福祉サービス事業として設立、ねりま事業所は定員6名(平成20年度から7名)の就労移行支援及び定員30名(平成20年度から33名)の就労継続支援(B型)の多機能型事業所として4月より事業を開始しました。

○平成19年度事業活動報告

法人本部では人事・総務・経理諸規程制定や訓練等給付及び区補助金やそれに伴う利用者負担額請求事務等、障害者自立支援法に基づく新事業体系を確立しました。

ねりま事業所では、就労移行支援事業は就労移行支援プログラムに則った社会性の向上や職業訓練を行い、東証一部上場の理研計器(株)、共同印刷(株)と練馬区役所に3人が就職することが出来ました。また、就労継続支援事業は年間通じて概30人在籍で、事業所での就労活動により一定額の工賃収入が得られました。

新規受注は、アパート外周清掃や公共施設等の清掃事業や区退職者会等からの受注があり、年間約90万円の収入増となりました。従来からのお取引先のフナキ様、助川運輸様からの受注も順調に推移して、作業量の確保を図ると共に、新規受注収入増により、利用者工賃も昨年度のねりま福祉作業所工賃を上回る支給となりました。



施設の外観です。

1階部分が就労継続支援、
2階部分に就労移行支援、
3階部分に社会福祉法人未来・ねりまの法人本部があります。



喫茶ふれんど

練馬区光が丘2-9-6

光が丘区民ホール3階

定休日:毎週土・日・祝日



喫茶ゆうゆう

練馬区豊玉北6-8-1

練馬公民館1階

定休日:毎週月曜

就労継続支援事業の紹介

就労継続支援では、知的障害者が地域の中でいきいきと豊かに暮らすための福祉就労の場として、長年活動してきました。これまで多くの知的障害者を受け入れ、地域に根ざした新しい作業所のあり方を目指しています。

●利用定員 33名

●事業内容

- ①箸袋入れ作業
- ②雑誌付録作業
- ③公園清掃

毎週3回(月・水・金)、区の委託を受けて行っています。

個別支援計画に基づき、本人のニーズや適性に合ったサービスを提供し、生活の質を高められるよう、日々励んでいます。

公園清掃風景



受注作業風景



就労移行支援事業の紹介

2年間を通して、企業就労を目指し活動していきます。

個別支援計画の作成

本人、家族、知的障害者主査、職員の四者で話し合い、1年間の就職に向けた具体的な目標を立てます。また、1ヶ月ごとに自分自身で目標を決めて、振り返ります。

ねりま事業所での活動

受注活動

- 清掃活動
- 文書封入・誕生日カード作成
- 喫茶事業

勉強会

- 就労に向けた心構え
- SST(社会生活技能訓練)

就労に向けた基本的スキル(挨拶・報告・身だしなみ・作業確認等)を習得し、伸ばしていきます。勉強会では、履歴書の書き方なども練習していきます。

就職活動

- 体験実習
- 企業面接

体験実習での経験や評価を参考にして、自分に適した職種の絞込みを図っていきます。実習で見た課題等を毎日の活動の中で重点的に取り組んでいきます。

就職後

- 職場内支援

就職後は、企業側と相談しながら、定期的に職場内支援に入り、仕事のやり方を支援したり、仕事での様子、普段の生活の様子などを話し合っていきます。

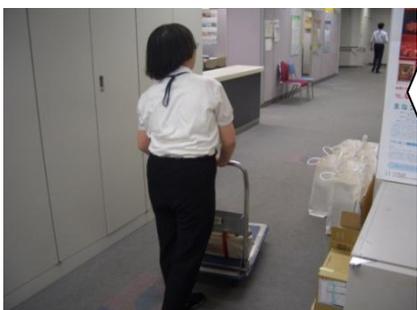
就職者の働く様子



一日にたくさんの書類を印刷します。片面印刷だったり、両面印刷だったりするので、指示をしっかりと聞いています。コピー機の用紙補充も行っています。



印刷した書類をまとめます。スピードと正確性が求められる仕事です。きれいに揃えてホチキスで止めます。



書類を配達したり、集めたりするのも重要な仕事です。たくさんの部署があるので、間違いのないように確認を徹底しています。

就職者の声

就職して3か月が経ちましたが、ようやく仕事にも慣れてきました。一生懸命働いて、給料をもらえるのがとても嬉しいです。これからもいろんなことにチャレンジしていきたいです。

ねりま事業所 行事報告

平成20年度 年間行事予定

- 5月 東京都障害者スポーツ大会
- 6月 練馬区障害者通所施設合同運動会
バスハイク(東京ディズニーランド)
- 7月 料理教室(年3回)
- 8月 福祉盆踊り大会(豊玉公園)
- 9月 スポーツの集い(東京体育館)
- 10月 健康診断・宿泊旅行(1泊2日)
- 12月 障害者フェスティバル
育成会クリスマス会
年忘れ会
- 1月 鏡開き
- 3月 福祉マラソン大会・バスハイク

東京都障害者スポーツ大会



ボランティアのみんなも楽しい人ばかりでした。みんな、頑張って走ったり、フォークダンスを踊ったりしました。

練馬区障害者通所施設合同運動会

障害物競走は1位でした。赤組は負けてしまいましたが、一生懸命頑張りました。



ディズニーランドバスハイク



前日までは雨の予報だったので、晴れてくれてとても良かったです。いろいろな乗り物に乗れて、楽しかったです。

事務局だより

○平成20年度事業活動重点計画

(1)ねりま第二福祉作業所の法人内事業所受入準備計画

ねりま第二福祉作業所を平成21年度からの法人内事業所として受入れる為、法人の定款を含む諸規程の見直しや新規事業体系移行整備に関する事業支援を行っていきます。

・障害福祉サービス 就労支援 就労継続支援事業(B型) 定員:32名程度

(2)グループ・ホーム開設計画

社会福祉法人未来・ねりま設立の趣意書にも述べられていますが、練馬手をつなぐ親の会の運動理念である知的障害者が地域の中で生き生きと豊かに暮らすために、就労の場と共に生活していく為の居住の場であるグループ・ホームの開設を行うことにあります。

・計画概要案 練馬区内の法人事業所近傍に利用者5人程度と世話人の部屋及び共通スペースのグループ・ホームを新規建設或いは中古建物改築で計画しています。

・スケジュール 都及び区との事業計画調整を開始し、平成22年度の開設を目標としています。

支える会だより

○社会福祉法人未来・ねりまを支える会入会のご案内

<目的> (社福)未来・ねりま及びねりま事業所の充実発展と利用者の支援・啓発に寄与することを目的としています。

<会 員> 利用者・保護者、役員・職員・お取引業者等の法人関係者、親の会会員等でどなたでも入会出来ます。

<年会費> 1口 2,000円ですが、希望口数としては、個人1口以上、団体・企業等5口以上でお願いしています。

<振替口座> 郵貯 00110-4-544768 社会福祉法人未来・ねりまを支える会(払込料金は会負担で手数料は無しです)

<お問合わせ> 練馬区豊玉中 4-10-6(社福)未来・ねりま ねりま事業所内 TEL3948-0275 FAX3948-5864
支える会事務局(齋藤、江連)にご連絡下さい。入会申込書兼入会受付書及び会則をお送り致します。

○社会福祉法人未来・ねりまを支える会平成19年度決算報告書及び平成20年度予算(案)

7月22日(火)午前、区役所地下多目的会議室で開催されました平成20年度支える会総会で報告、承認されました。